

2024年度 学校教育(基本方針)総括

生駒市立大瀬中学校

教育活動目標を達成するための基本方針(重点目標)について

本校の今年度の7つの基本方針のうち(2)(3)(4)(5)(7)の項目を重点目標に設定して教育活動を行い、その内容に特化して、学校評価アンケートを基に総括を行った。

- (1) 学校安全管理体制の継承と確立
- (2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進
- (3) 生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実
- (4) いのちを大切にする心や人権を尊重する教育の充実
- (5) 保護者、地域との連携
- (6) 組織力の向上
- (7) 教職員の働き方改革の推進

以下【保護者用アンケート ⇒ 保護者 生徒用アンケート ⇒ 生徒 学校評価アンケート ⇒ 教職員】

◎ 生徒 学校評価アンケート(4段階)

 1:あてはまる  2:ややあてはまる  3:あまりあてはまらない  4:あてはまらない

◎ 保護者・教職員・学校関係者アンケート(5段階)

 1:あてはまる  2:どちらかといえばあてはまる  3:どちらともいえない

 4:あまりあてはまらない  5:あてはまらない

※今年度、保護者から4段階では答えにくいという意見があったので、保護者と教職員・学校関係者の回答は5段階に変更しました。

(2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進

- ① 定期的に校内で公開授業や研修を行い、授業力の向上を図る
- ② ICT 機器等を活用し、主体的・対話的な学びによる授業や魅力ある授業作りを推進する
- ③ 少人数指導や、学習補充等を実施し、基礎学力の充実を図る
- ④ 学校図書館を充実し、読書活動を推進する

- ① ② 2年前から当該学年以外は生徒を下校させ、全職員が校内研修を受ける体勢を整えて校内研修を行っている。今年度は9月に集中し、授業研究を行った。

9月3日(火) 第3学年 9月10日(火) 第2学年 9月17日(火) 第1学年

また、授業参観は保護者対象に年間 3回 ① 6月11日(火) ② 11月11日(月) ③ R7 2月10日(月)

学校運営協議会では今年度 11月11日(月)に実施した。

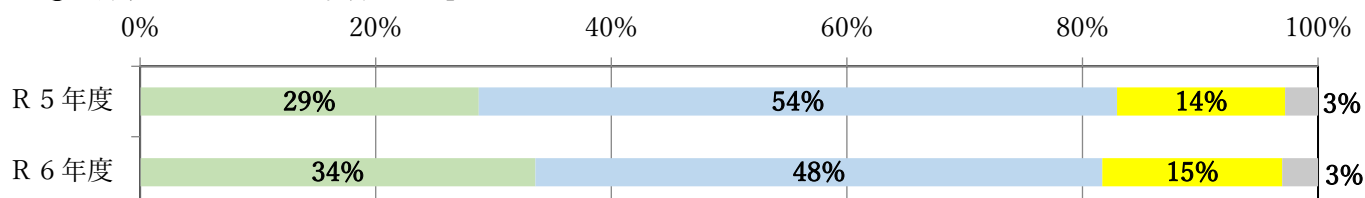
校内研修は、毎回参観した授業に対してそれぞれ個々に意見を述べているが、来年度は更に教科毎に授業検討を行った上で研究授業を行い、授業者と見学者が討論しあう場などを設定することで、研修を通して学校全体の授業力の向上を図る。また、ICT 機器等の活用は、生徒のクロムブックの活用頻度はR5年度と比較すると高くなっているとはいえ、まだまだ教科や教員によって隔たりがあり、常に積極的に活用しているとは言えない状況にある。来年度以降は、使用する端末も変わるため、使用の仕方についても改めて研修を行い、積極的な使用に繋がられるよう進めていく。

- ③ 小人数指導は、今年度1年生の英語と数学で実施した。どちらも学級を2つに分けて、少人数で授業を行っている。また、数学や英語など苦手な生徒を対象にした補充学習等や、長期休みを利用した学習補充など積極的に行っている。アンケート(別紙1)から、小人数指導を実施することで、授業の内容がわかりやすく一人一人をよく見てもらえていると感じることが読み取れる。教員は生徒の実態を把握しながら、基礎学力の定着に努めている。わかりやすい授業について、生徒は昨年度とほぼ同じ割合で82%はそう思う・ややそう思うと答えているが、保護者の割合は67%に留ま

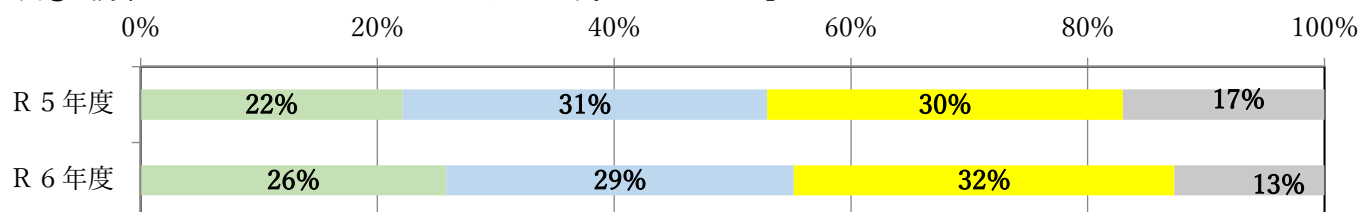
っており(どちらもないを含めると91%)、わかりにくいと感じている生徒が18%いることや、わからないことを先生に聞くことができないと答えている生徒は年々減ってきているものの、45%の生徒が質問できていないと答えている状況に着目し、勉強の仕方も含め困っている生徒に対する手立てを工夫し、どのように対応していくかの検討が必要である。さらに、令和8年度の公立高校の受検の形式が大きく変わることも踏まえながら評価と指導の一体化をどのように図るか、校内研修等で検討しながら指導方法を工夫する必要がある。

- ④ 本校生徒は、図書館の利用率がとても高く、常に30名以上の生徒が利用している。さらに多くの生徒が図書館を利用するきっかけにするために、本校学校司書がさまざまなアイデアを出してイベントを行っている。今年度も、生駒市のキャリアプランナーと連携し、さまざまな取り組みを実施するなど積極的な図書館活用にも努めている。

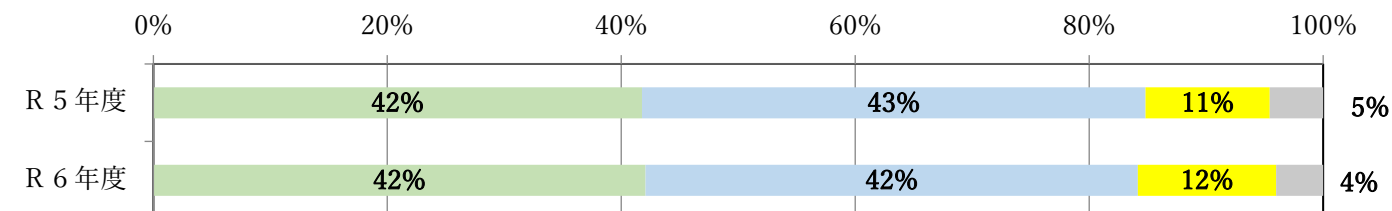
生徒③「授業はわかりやすく学習できる」



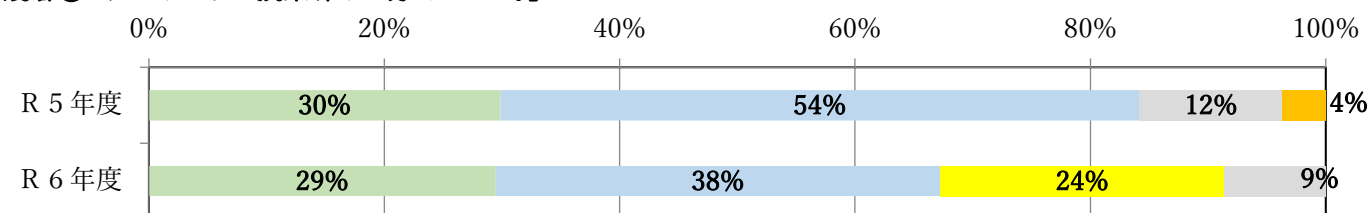
生徒④「授業でわからないことがあるときは先生に聞くことができる」



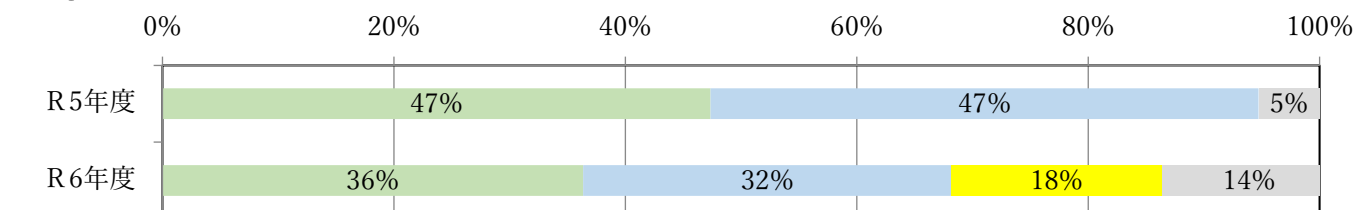
生徒⑤「授業中、周りの人と話し合いをして進める学習をしている」



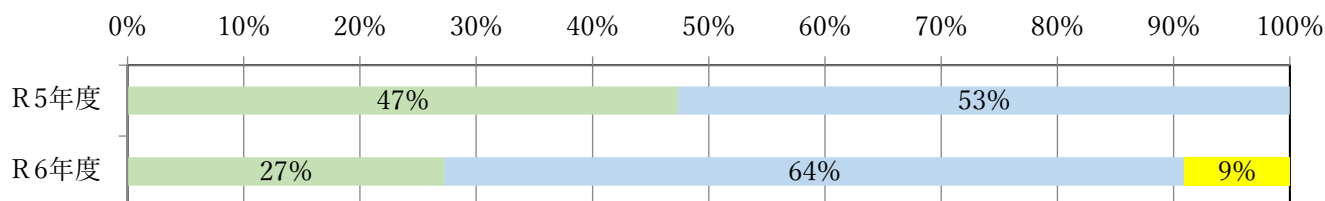
保護者⑥「わかりやすい授業作りに努めている。」



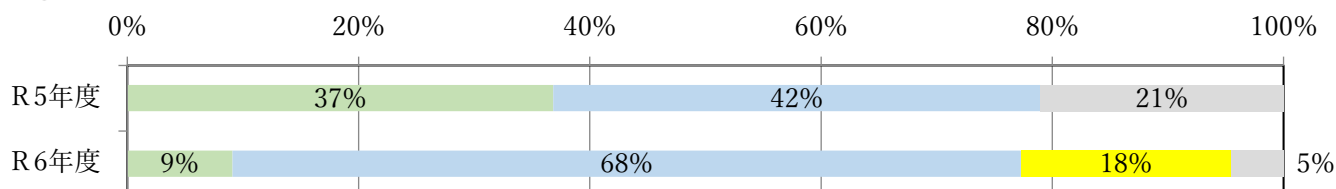
教職員①「指導方法を工夫し・改善し、ICT等を活用した授業の充実に努めている」



教職員②「生徒の実態を的確に把握し、基礎学力の定着に努めている」



教職員③「学習評価を通じて、生徒の学習状況を把握し、その成果を学習指導に生かしている」

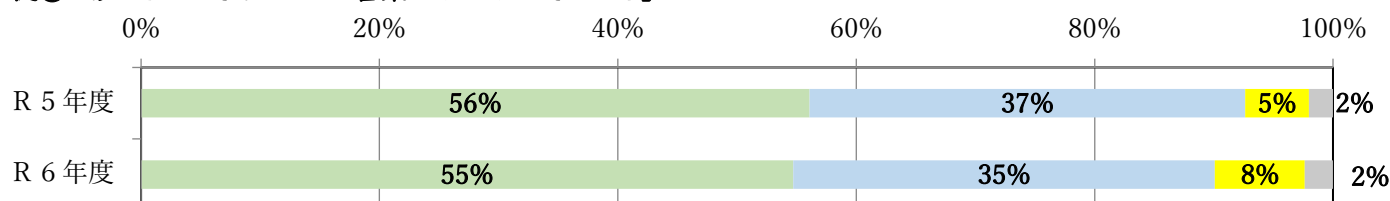


(3) 生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実

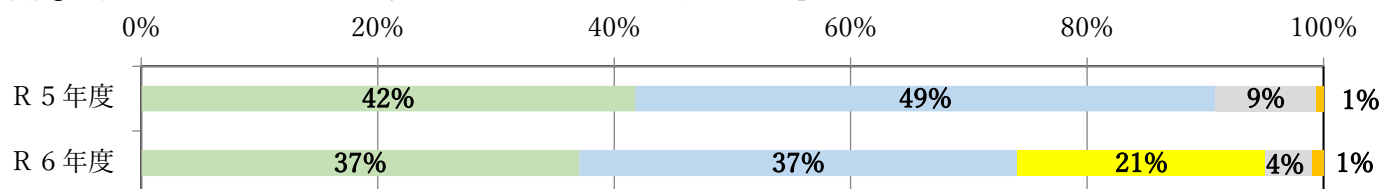
- ① あいさつを奨励し、生徒の基本的な生活習慣を確立する
- ② 生徒理解に努めることにより信頼関係を構築し、生徒の心を耕す教育の充実を図るとともに、規範意識と自己有用感を高める取組を推進する
- ③ 不登校生徒への対応を充実させるなど、教育相談と生徒指導の両面から生徒理解を深める、また、スクールカウンセラーや関係機関との連携等により、課題のある生徒への対応を充実する
- ④ いじめの早期発見、早期対応を徹底し、いじめのない学校を目指す

- ① 地域のあいさつ運動がさかんで、その影響もあって、生徒たちは全般的に積極的にあいさつができている。生活委員会が中心となってあいさつ運動も行うなど、あいさつの促進をしていることもあり、88%の生徒があいさつと正しい言葉づかいができていると答え、教職員も94%が積極的に取り組んでいると答えている。また、昨年度より6%増加し、64%の生徒が地域での関わりをもとうと努力している。笑顔であいさつすることを目指しながら、地域でも積極的にあいさつができ、少しずつ地域に関わろうとする心が育つよう取り組んでいきたい。
- ② 自分のよさを認めることのできる生徒が、毎年少しずつ増えてきている。また、悩みや困ったことについて話を聞ってくれる先生がいると答えた生徒も 6%増え、69%になった。本校の大きな課題であった生徒と教職員との信頼関係を深め、生徒の悩みや困りごとを受け止めることができるように、引き続き年間2回教育相談を行い、教職員がすべての生徒と話す機会を設け、教職員がいつでも話を聞く姿勢を持っていることが伝わったことも影響していると考えられる。
- ③ 今年度の不登校支援は、2学期から正式オープンした不登校支援サポートルーム「えん」が有効に活用できている。学校にくることがむずかしかったり、登校しても教室に入りにくかったりする生徒を対象に、教育相談部会で検討し、困り感のある生徒に対して、教育相談部と担任や学年、状況に応じて関連機関とも連携しながら、チームを組んで対応し、それぞれの生徒に適した方法を保護者と共有しながら進めていくことができた。また、登校することは難しくても、さまざまな施設を利用することで、生徒ひとりひとりにとって安心できる居場所を見つけることを目指していく。悩みや困りごとがあるときには、家族や先生・友達など身近な誰かに SOS を出すことの大切さを訴え、それを受け止めることができる教職員やなかまづくりを目指す。
- ④ いじめや暴力については、85%の生徒が安心して学校生活を送っているが、15%が不安に思っている現状を把握し、いじめや暴力は決して許さないという意識を、生徒と教職員がともに高く持って対応していく。

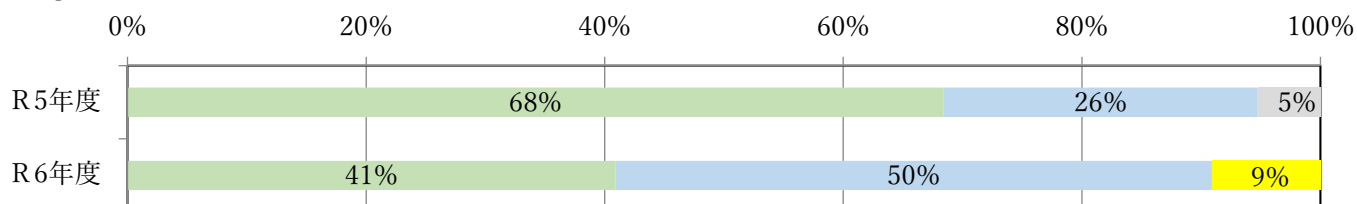
生徒⑩「あいさつやきちんとした言葉づかいができている」



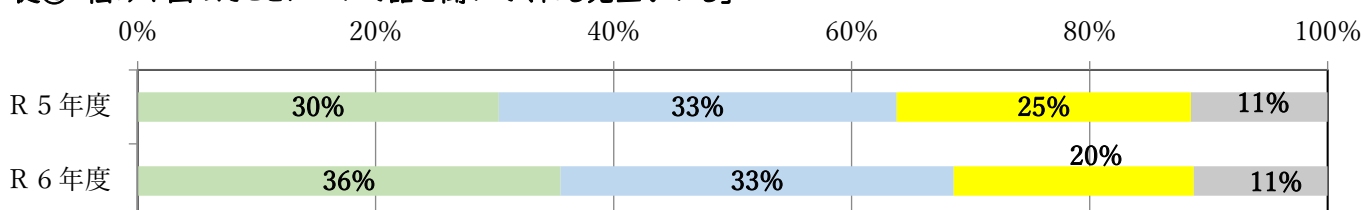
保護者⑨「学校は、生徒が明るく元気なあいさつができるよう努めている」



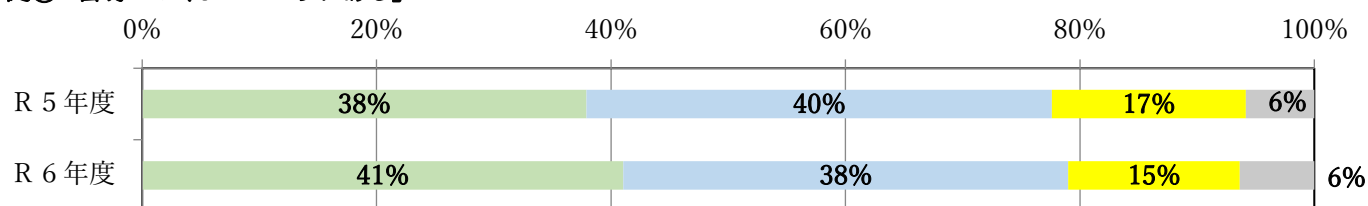
教職員④「生徒が、挨拶や正しい言葉遣いができるよう、指導している」



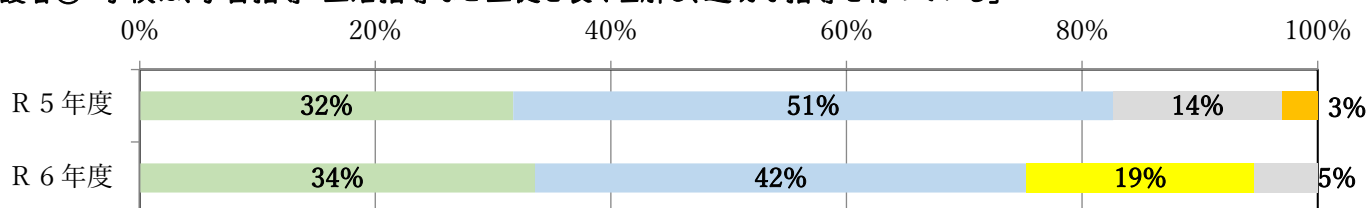
生 徒⑬「悩みや困ったことについて話を聞いてくれる先生がいる」



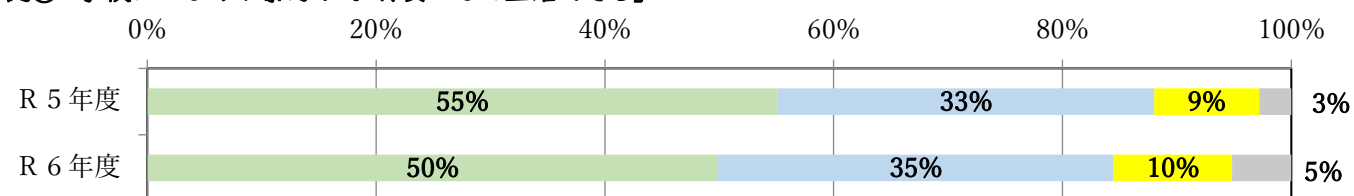
生 徒⑰「自分には、よいところがある」



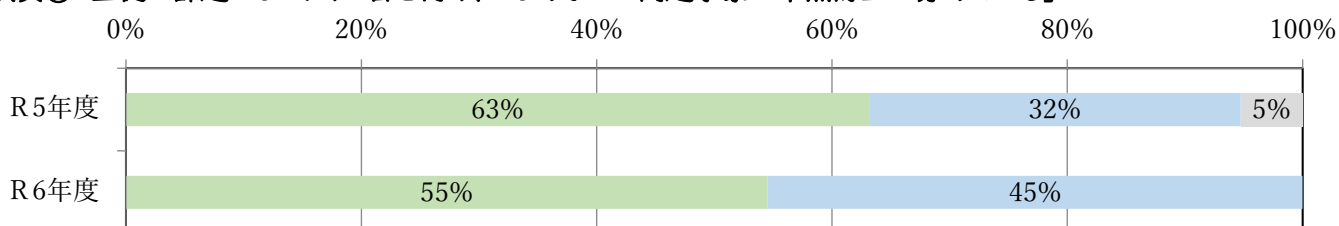
保護者⑩「学校は、学習指導・生活指導など生徒を良く理解し、適切な指導を行っている」



生 徒⑯「学校はいじめや暴力がなく、安心して生活できる」



教職員⑧「生徒の課題にしっかりと目を向け、いじめなどの問題事象の未然防止に努めている」

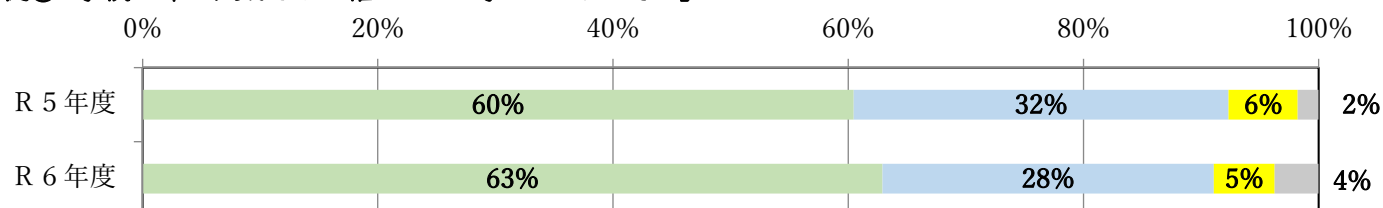


(4)いのちを大切にできる心や人権を尊重する教育の充実

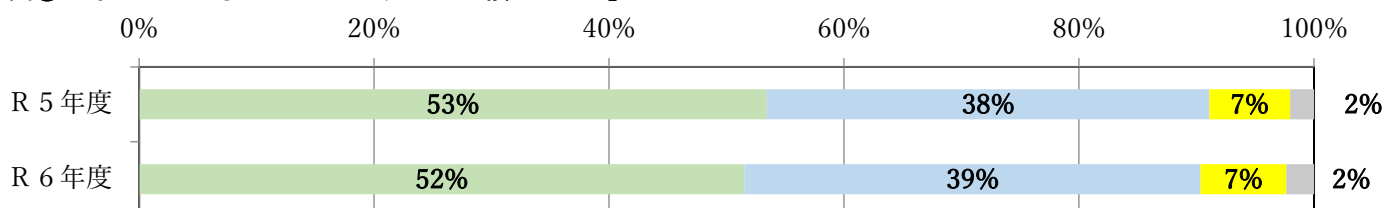
- ① すべての教育活動において、いのちを大切にできる心を育成する
- ② 人権を尊重し、多様性を認め合い、あらゆる差別を許さない人権教育の充実に努める
- ③ 共に支え合う心を育成し、全校体勢で特別支援教育の充実を図る

- ① ② 今年度も笑顔あふれる学校を目指すことを宣言し、全校生徒に話をする機会では、折に触れて自分を好きになることや、ありのままの自分を認めること・まわりの人も認めることの大切さを話し、学校だよりでも7月の差別をなくす強調月間や12月の人権週間について紹介した。また、避難訓練や1月の始業式で阪神淡路大震災から30年経過したことを伝え、改めていのちの尊さについて考える機会を持った。また、各学年の取り組みとしては、障がい者理解を深めるために車いす(福祉)体験や、生駒市の戦争のようすや被ばくされた方の話を聞くなど、平和学習を進めた。
- ③ 特別支援教育については、今年度校内委員会を2回開催し、個々の生徒についての情報交換に努めた。今年度から、「高等学校への引継ぎシート」が運用されているので、高等学校へのスムーズな引継ぎに繋げることができるように、積極的な周知が必要である。来年度も、特別支援教育コーディネーターを中心に、各特別支援学級担任をはじめ、各学級担任とも連携を密にし、さまざまな支援が必要な生徒に対し、きめ細やかな状況の把握ができる校内体制の構築を目指す。また、各関係機関や保護者とも連携を図りそれぞれ対応を進めていく。

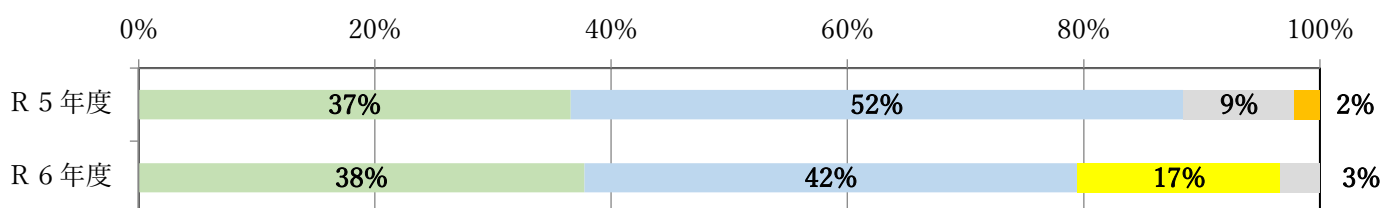
生徒⑫「学校で命の大切さや人権について学ぶことができた」



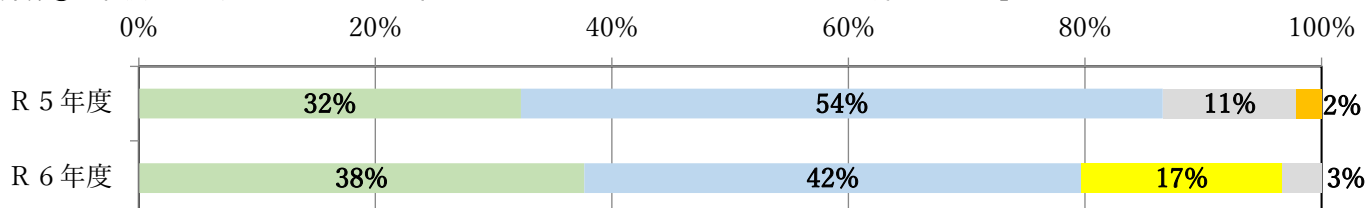
生徒⑭「周りの人に思いやりをもち、やさしく接している」



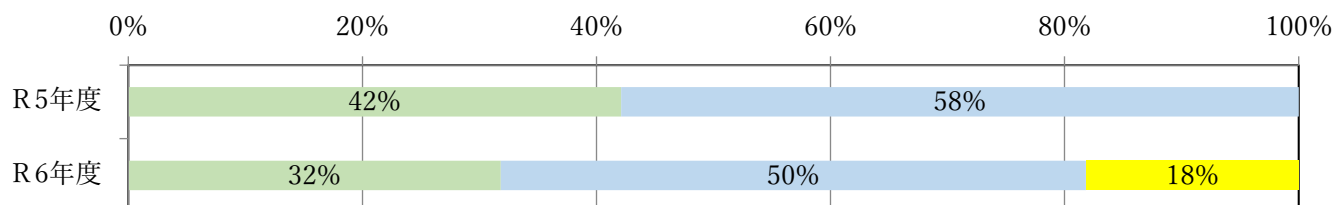
保護者⑦「学校は、命の大切さや人権を尊重する教育を推進している」



保護者⑧「学校は、生徒に人の立場を考え、相手を思いやることができるように努めている」



教職員⑥「命の大切さや人権についての取組を十分に行っている」



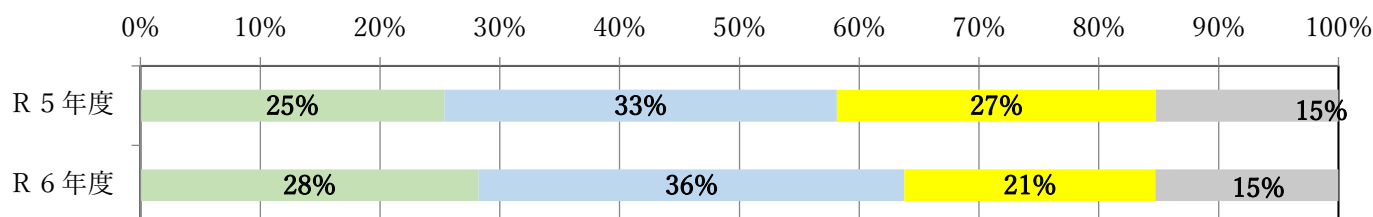
(5)保護者、地域との連携

①学校ホームページや各種通信を通して、学校の様子や情報を積極的に公表し、信頼関係を構築する

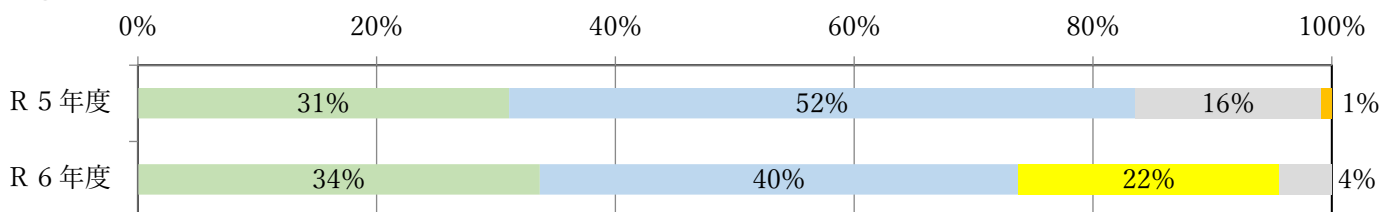
②学校運営協議会を核として、地域と共にある学校づくりを推進する

- ① 今年度も、先にも述べた授業参観(年3回)や部活動懇談と参観(年2回)、参観後に保護者と教職員の研修会を行った。また、学校の日常をできるだけ公式 X(旧 Twitter)を通じて、周知している。
- ② 大中サポーターの募集をかけ、花いっぱい活動・除草作業活動・図書館整備を新設し、今まであった家庭科の授業補助活動も連絡方法なども整理し、参加しやすい体制作りを行った。年間3回、各自治会に回覧を行い、大中サポーター募集のお願いや、学校だより・サポーターの活動報告や公式 X(旧 Twitter)の紹介などを行うことで、興味をもって見ていただく人も増え、地域の方にも大瀬中学校の様子を知っていただくことができた。さらに、地域の文化祭に美術部の作品を出品したり、地域の雪遊びのボランティアを募ったりした。また、2年連続して、生徒会が小さな親切運動に取り組んでおられる団体と話し合う場を持っている。更に、2年生の防災の総合的な学習を進める際に、行政と地域の方の協力もいただき、内容が評価されぼうさい甲子園で「継続こそ力」賞を受賞した。地域の小学校の防災参観や授業参観の際に、作成したポスターや防災グッズ・防災かるたなどを展示して、小学生や保護者にも見学してもらっている。また、花いっぱい運動では、ふろーらむの協力のもと、寄せ植えに適した花の説明や寄せ植えのノウハウを指導していただき、一緒に寄せ植えを作成していただいている。今後は、大瀬中学校を拠点として、南地区でお花を楽しむ人が増える取組に発展していきたいと相談を受けている。今年度の取組が継続した地域協働本部としての活動内容を工夫し、生徒たちが地域に根ざす活動につなげる取り組みを考えていきたい。

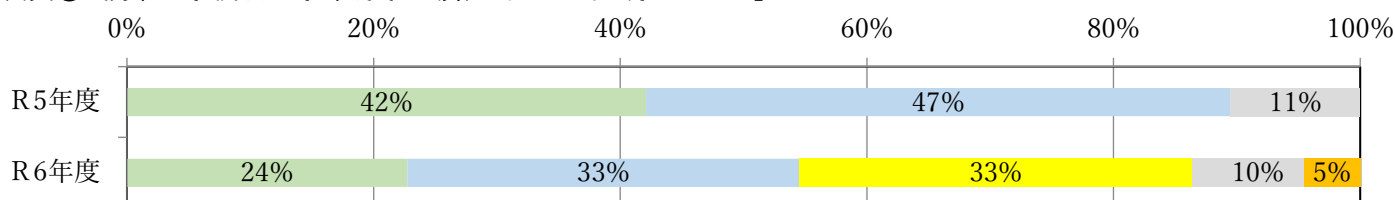
生徒⑩「普段から地域の人とあいさつを交わしたり、地域の行事に参加したりしている」



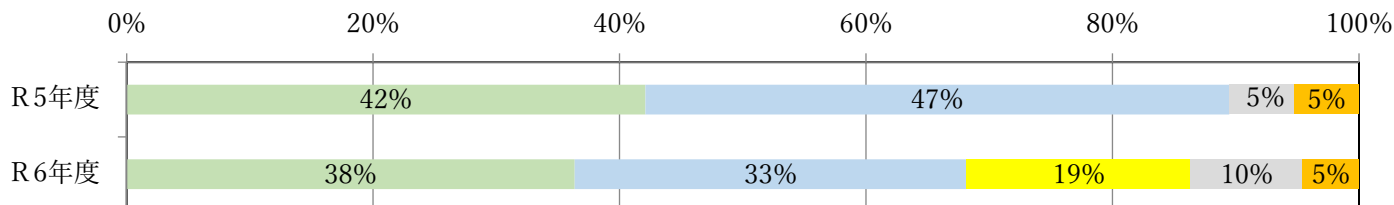
保護者⑦「学校は、保護者・地域と連携して教育活動を進めようとしている」



教職員⑧「授業や学校及び学年行事の積極的は公開に努めている」



教職員⑦「通信やホームページ、公式 X、保護者会等を通じて、家庭や地域への情報発信に努めている」



(7)教職員の働き方改革の推進

①仕事の効率化を図り、業務内容を見直し、超過勤務の減少に努める

②教職員のライフアンドワークバランスを大切にし、心身ともに健康で働きやすい職場を目指す

今年度働き方改革委員会を立ち上げ、令和6年度から9年度の3年間で達成終了を目指して目標をたて、業務内容の見直しや、職場環境の改善など働き方の改善に努めている。現在、校務分掌表や、行事の見直し、業務の整理などに取り組んでいる。

保護者アンケート 自由記述より ※貴重なご意見、本当にありがとうございました。

1 体育大会等の保護者の写真・動画撮影ができるようにしてほしい

本校では、以前保護者が携帯で撮影した写真を SNSであげたことが発端となる大きなトラブルがあり、個人情報保護の観点も含め、昨年度写真・動画撮影を禁止しました。昨年度の体育大会は十分説明する間もなく直前の周知となったことについても否定的な意見がありました。そこで、昨年度末に PTA 役員と相談し、撮影しない方向で話が進み、PTA 総会でもその件について提案され認められましたので、今年度も禁止しました。今回アンケートだけでなく、懇談時にも許可してほしいという意見があったと聞いていますので、PTA の役員の方とも相談し、再度検討します。

2 行事について

○器楽合奏会について

今年度生徒の入場に手間取り、保護者入場まで寒い中長い間外で待っていただく形になり申し訳ありませんでした。また、1年生と3年生のお子様がおられる保護者の方は、2年生が演奏中は一度退場していただくことになっていました。たくさんの見学者がおられるので、全学年を収容することはむずかしいですが、上限を決めるか、別室を準備したり、保護者の方にも案内等の協力をお願いしたりするなどして、少しでも良い方法が提案できるよう検討いたします。

○体育大会の実施時間や競技内容について

昨今、残暑が長引き、10月に入っても気温の高さや熱中症が心配されます。今年度は、それを考慮して、10月第2週目に遅らせましたが、今年は天候不良のため延期となり実施できるか読めない状況でした。体育大会では、生徒達は全力で取り組みます。生徒達の体調を考えると、半日実施がよいと判断し、その結果、競技内容も減らして実施しています。

○行事の日程の変更のお知らせが遅くなったことについて

大変ご迷惑をおかけしました。学校のやむ負えない事情で変更していますが、できるだけ変更することがないように計画段階でしっかり吟味し、万が一変更になった時には、早急にお知らせします。

他にも

○わかりやすい授業について

○教員の指導のあり方について

○タブレットの活用の仕方について

○体育大会の保護者席について

○学校の環境について

○保護者からの連絡方法について

○給食のメニューについて

○部活動指導のあり方について

○生徒に対する指導方法について

など さまざまな意見をいただきました。

いただいた意見をもとに検証し、生徒達にとって安心で安全な楽しいと感じる学校をめざして取り組んでいきます。